

RL78/G23-64p Fast Prototyping Board ユーザーズマニュアル

16

16 ビット・シングルチップ・マイクロコントローラ
RL78 ファミリ

本資料に記載の全ての情報は本資料発行時点のものであり、ルネサス エレクトロニクスは、予告なしに、本資料に記載した製品または仕様を変更することがあります。
ルネサス エレクトロニクスのホームページなどにより公開される最新情報をご確認ください。

ご注意書き

1. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合、お客様の責任において、お客様の機器・システムを設計ください。これらの使用に起因して生じた損害（お客様または第三者いずれに生じた損害も含みます。以下同じです。）に関し、当社は、一切その責任を負いません。
2. 当社製品または本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用回路例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権に対する侵害またはこれらに関する紛争について、当社は、何らの保証を行うものではなく、また責任を負うものではありません。
3. 当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
4. 当社製品を組み込んだ製品の輸出入、製造、販売、利用、配布その他の行為を行うにあたり、第三者保有の技術の利用に関するライセンスが必要となる場合、当該ライセンス取得の判断および取得はお客様の責任において行ってください。
5. 当社製品を、全部または一部を問わず、改造、改変、複製、リバースエンジニアリング、その他、不適切に使用しないでください。かかる改造、改変、複製、リバースエンジニアリング等により生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
6. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」および「高品質水準」に分類しており、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使用されることを意図しております。

標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット等

高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通制御（信号）、大規模通信機器、金融端末基幹システム、各種安全制御装置等

当社製品は、データシート等により高信頼性、Harsh environment 向け製品と定義しているものを除き、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等）、もしくは多大な物的損害を発生させるおそれのある機器・システム（宇宙機器と、海底中継器、原子力制御システム、航空機制御システム、プラント基幹システム、軍事機器等）に使用されることを意図しておらず、これらの用途に使用することは想定していません。たとえ、当社が想定していない用途に当社製品を使用したことにより損害が生じても、当社は一切その責任を負いません。

7. あらゆる半導体製品は、外部攻撃からの安全性を 100%保証されているわけではありません。当社ハードウェア/ソフトウェア製品にはセキュリティ対策が組み込まれているものもありますが、これによって、当社は、セキュリティ脆弱性または侵害（当社製品または当社製品が使用されているシステムに対する不正アクセス・不正使用を含みますが、これに限られません。）から生じる責任を負うものではありません。当社は、当社製品または当社製品が使用されたあらゆるシステムが、不正な改変、攻撃、ウイルス、干渉、ハッキング、データの破壊または窃盗その他の不正な侵入行為（「脆弱性問題」といいます。）によって影響を受けないことを保証しません。当社は、脆弱性問題に起因したまたはこれに関連して生じた損害について、一切責任を負いません。また、法令において認められる限りにおいて、本資料および当社ハードウェア/ソフトウェア製品について、商品性および特定目的との合致に関する保証ならびに第三者の権利を侵害しないことの保証を含め、明示または黙示のいかなる保証も行いません。
8. 当社製品をご使用の際は、最新の製品情報（データシート、ユーザーズマニュアル、アプリケーションノート、信頼性ハンドブックに記載の「半導体デバイスの使用上の一般的な注意事項」等）をご確認の上、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他指定条件の範囲内でご使用ください。指定条件の範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障、誤動作の不具合および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は、データシート等において高信頼性、Harsh environment 向け製品と定義しているものを除き、耐放射線設計を行っておりません。仮に当社製品の故障または誤動作が生じた場合であっても、人身事故、火災事故その他社会的損害等を生じさせないよう、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証を行ってください。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様の機器・システムとしての安全検証をお客様の責任で行ってください。
10. 当社製品の環境適合性等の詳細につきましては、製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。かかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、当社は、一切その責任を負いません。
11. 当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。当社製品および技術を輸出、販売または移転等する場合は、「外国為替及び外国貿易法」その他日本国および適用される外国の輸出管理関連法規を遵守し、それらの定めるところに従い必要な手続きを行ってください。
12. お客様が当社製品を第三者に転売等される場合には、事前に当該第三者に対して、本ご注意書き記載の諸条件を通知する責任を負うものといたします。
13. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。
14. 本資料に記載されている内容または当社製品についてご不明な点がございましたら、当社の営業担当者までお問合せください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社が直接的、間接的に支配する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

(Rev.5.0-1 2020.10)

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24（豊洲フォレスト）

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

製品ご使用上の注意事項

ここでは、マイコン製品全体に適用する「使用上の注意事項」について説明します。個別の使用上の注意事項については、本ドキュメントおよびテクニカルアップデートを参照してください。

1. 静電気対策

CMOS 製品の取り扱いの際は静電気防止を心がけてください。CMOS 製品は強い静電気によってゲート絶縁破壊を生じることがあります。運搬や保存の際には、当社が出荷梱包に使用している導電性のトレーやマガジンケース、導電性の緩衝材、金属ケースなどを利用し、組み立て工程にはアースを施してください。プラスチック板上に放置したり、端子を触ったりしないでください。また、CMOS 製品を実装したボードについても同様の扱いをしてください。

2. 電源投入時の処置

電源投入時は、製品の状態は不定です。電源投入時には、LSI の内部回路の状態は不確定であり、レジスタの設定や各端子の状態は不定です。外部リセット端子でリセットする製品の場合、電源投入からリセットが有効になるまでの期間、端子の状態は保証できません。同様に、内蔵パワーオンリセット機能を使用してリセットする製品の場合、電源投入からリセットのかかる一定電圧に達するまでの期間、端子の状態は保証できません。

3. 電源オフ時における入力信号

当該製品の電源がオフ状態のときに、入力信号や入出力プルアップ電源を入れしないでください。入力信号や入出力プルアップ電源からの電流注入により、誤動作を引き起こしたり、異常電流が流れ内部素子を劣化させたりする場合があります。資料中に「電源オフ時における入力信号」についての記載のある製品は、その内容を守ってください。

4. 未使用端子の処理

未使用端子は、「未使用端子の処理」に従って処理してください。CMOS 製品の入力端子のインピーダンスは、一般に、ハイインピーダンスとなっています。未使用端子を開放状態で動作させると、誘導現象により、LSI 周辺のノイズが印加され、LSI 内部で貫通電流が流れたり、入力信号と認識されて誤動作を起こす恐れがあります。

5. クロックについて

リセット時は、クロックが安定した後、リセットを解除してください。プログラム実行中のクロック切り替え時は、切り替え先クロックが安定した後、リセット時、外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックで動作を開始するシステムでは、クロックが十分安定した後、リセットを解除してください。また、プログラムの途中で外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックに切り替える場合は、切り替え先のクロックが十分安定してから切り替えてください。

6. 入力端子の印加波形

入力ノイズや反射波による波形歪みは誤動作の原因になりますので注意してください。CMOS 製品の入力がノイズなどに起因して、 V_{IL} (Max.) から V_{IH} (Min.) までの領域にとどまるような場合は、誤動作を引き起こす恐れがあります。入力レベルが固定の場合はもちろん、 V_{IL} (Max.) から V_{IH} (Min.) までの領域を通過する遷移期間中にチャタリングノイズなどが入らないように使用してください。

7. リザーブアドレス（予約領域）のアクセス禁止

リザーブアドレス（予約領域）のアクセスを禁止します。アドレス領域には、将来の拡張機能用に割り付けられている リザーブアドレス（予約領域）があります。これらのアドレスをアクセスしたときの動作については、保証できませんので、アクセスしないようにしてください。

8. 製品間の相違について

型名の異なる製品に変更する場合は、製品型名ごとにシステム評価試験を実施してください。同じグループのマイコンでも型名が違えば、フラッシュメモリ、レイアウトパターンの相違などにより、電気的特性の範囲で、特性値、動作マージン、ノイズ耐量、ノイズ放射量などが異なる場合があります。型名が異なる製品に変更する場合は、個々の製品ごとにシステム評価試験を実施してください。

このマニュアルの使い方

1. 目的と対象者

このマニュアルは、本製品の基本仕様と正しい使用方法を理解していただくことを目的としています。本製品を使ってマイクロコントローラの評価およびプログラムをデバッグするユーザを対象とします。このマニュアルを読むユーザは、マイクロコントローラの機能とデバッガに関する基本的な知識が必要です。

このマニュアルを使用する場合、注意事項を十分確認の上、使用してください。注意事項は、各章の本文中、各章の最後、注意事項の章に記載しています。

改訂記録は旧版の記載内容に対して訂正または追加した主な箇所をまとめたものです。改訂内容すべてを記録したものではありません。詳細は、このマニュアルの本文でご確認ください。

RL78/G23-64p Fast Prototyping Board では次のドキュメントを用意しています。ドキュメントは最新版を使用してください。

ドキュメントの種類	記載内容	資料名	資料番号
ユーザーズマニュアル	ハードウェア仕様の説明	RL78/G23-64p Fast Prototyping Board ユーザーズマニュアル	R20UT4814JJ (本マニュアル)
回路図	回路図	RL78/G23-64p Fast Prototyping Board 回路図	R20UT4931EJ
部品表	部品表	RL78/G23-64p Fast Prototyping Board BOM LIST	R12TU0120EJ
ユーザーズマニュアル ハードウェア編	ハードウェアの仕様（ピン配置、メモリマップ、周辺機能の仕様、電気的特性、タイミング）と動作説明	RL78/G23 ユーザーズマニュアル ハードウェア編	R01UH0896JJ

2. 略語および略称の説明

略語／略称	英語名	備考
Arduino™ UNO	-	Arduino™ UNO R3 互換コネクタ搭載
CPU	Central Processing Unit	中央処理装置
DIP	Dual In-line Package	電子部品パッケージの一種
DNF	Do Not Fit	未実装
Grove	-	Grove 互換コネクタ搭載可
IDE	Integrated Development Environment	統合開発環境
IRQ	Interrupt Request	割り込み要求
HOCO	High-Speed On-Chip Oscillator	高速オンチップオシレータ
LOCO	Low-Speed On-Chip Oscillator	低速オンチップオシレータ
LED	Light Emitting Diode	発光ダイオード
MCU	Micro-controller Unit	マイクロコントローラユニット
n/a (NA)	Not applicable	未対応
n/c (NC)	Not connected	未接続
PC	Personal Computer	パーソナルコンピュータ
RAM	Random Access Memory	ランダムアクセスメモリ
RFP	Renesas Flash Programmer	ルネサスフラッシュプログラマ
ROM	Read Only Memory	リードオンリーメモリ
SPI	Serial Peripheral Interface	シリアルペリフェラルインタフェース
USB	Universal Serial Bus	シリアルバス規格の一種
TPU	Timer Pulse Unit	タイマパルスユニット
UART	Universal Asynchronous Receiver/Transmitter	調歩同期式シリアルインタフェース
WDT	Watchdog timer	ウォッチドッグタイマ

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

1. 概要	7
1.1 目的	7
1.2 特徴	7
1.3 準備	7
1.4 ボード仕様表	8
1.5 ブロック図	9
2. 外観図	10
3. 部品配置図	11
4. 動作環境	12
5. ユーザ回路	13
5.1 評価 MCU	13
5.2 USB コネクタ	13
5.3 電源 LED	13
5.4 ユーザ LED	13
5.5 Arduino™ コネクタ	14
5.6 MCU ヘッド	16
5.7 Grove コネクタ	18
5.8 クロック	18
5.9 リセットスイッチ	18
5.10 ユーザスイッチ	19
5.11 USB-シリアル変換器	19
5.12 USB-シリアル変換器リセットヘッド	19
5.13 電源選択ヘッド	20
5.14 外部電源供給	21
5.15 DC ジャック電源供給	21
5.16 電流測定ヘッド	22
5.17 VDD, EVDD の分離パターン	23
5.18 USB-シリアル変換器の IO 電源カットパターン	23
5.19 エミュレータ用コネクタ	24
6. 取り扱い上の注意	25
6.1 供給可能電流	25
6.2 基板改造	25
6.3 電源供給と使用条件	26
7. コード開発	27
7.1 e ² studio を使用する場合	27
7.2 CS+ を使用する場合	28
8. 追加情報	29

1.概要

本ドキュメントは、RL78/G23-64p Fast Prototyping Board (RTK7RLG230CLG000BJ)(以下、本製品)について説明しています。

1.1 目的

本製品はルネサスマイクロコントローラ用の評価ツールです。本マニュアルでは、ハードウェア仕様、スイッチ類の設定方法、基本的なセットアップ手順を記載しています。

1.2 特徴

- ルネサスマイクロコントローラのプログラミング
- ユーザコードのデバッグ
- スイッチ、LEDのユーザ回路

1.3 準備

ホスト PC に統合開発環境 (IDE) の他、必要なソフトをインストールしてください。

<https://www.renesas.com/development-tools>

1.4 ボード仕様表

ボード仕様を表 1-1 に示します。

表 1-1: ボード仕様表

項目	仕様
評価 MCU(RL78/G23 64pin)	型番 : R7F100GLG2DFB
	パッケージ : 64-pin LFQFP
	内蔵メモリ : ROM 128KB、RAM 16KB、Data Flash 8KB
基板サイズ	53.34mm x 68.58mm
電源	VDD : 1.6~5.5V (EVDD は、VDD と同電位)
電源供給 ^{*2}	USB コネクタ : VBUS(5V)もしくは3.3V (デフォルト)
	外部電源供給 : 1.6~5.5V
	DC ジャック : 7V~12V
	E2, E2 エミュレータ Lite
消費電流	最大 200mA
メインクロック ^{*1}	OSC1 : メインシステムクロック用水晶発振子(表面実装) OSC2 : メインシステムクロック用水晶発振子/セラミック共振子(リード型)
サブクロック	OSC3 : サブクロック用水晶発振子(表面実装)
プッシュスイッチ	リセットスイッチ x1
	ユーザスイッチ x1
LED	電源用 : (緑) x1
	ユーザ用 : (緑) x2
USB コネクタ	コネクタ : micro USB Type-B
Arduino™ コネクタ	コネクタ : 6 ピン x1、8 ピン x2、10 ピン x 1 Arduino™ UNO R3 対応インタフェース
MCU ヘッド ^{*1}	ヘッド : 19 ピン x1、16 ピン x1
USB シリアル変換器	RL78 COM port デバッグ・ツールとして使用 FTDI 製 FT232RQ 1 個
USB シリアル変換器 リセットヘッド	ヘッド : 2 ピン、1 個(デフォルトオープン)
電流測定ヘッド ^{*1}	ヘッド : 2 ピン、2 個
電源選択ヘッド ^{*2}	ヘッド : 3 ピン、1 個
エミュレータ用コネクタ ^{*1}	14pin コネクタ(E2 エミュレータ/E2 エミュレータ Lite 接続用)
Grove コネクタ ^{*1}	Grove 対応インタフェース

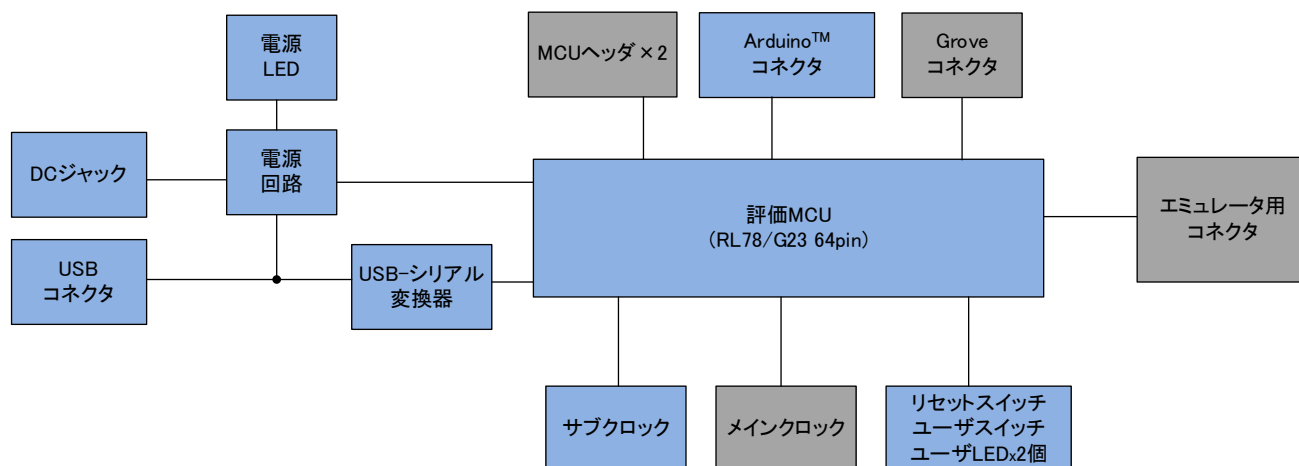
*1: 部品は実装されていません。

*2: 出荷時における評価 MCU への電源供給は、VBUS(5V)から供給する設定です。

それ以外を電源供給元とする場合、ジャンパ設定が必要です。詳細は、「5. ユーザ回路」を参照してください。

1.5 ブロック図

本製品のブロック図を図 1-1 に示します。

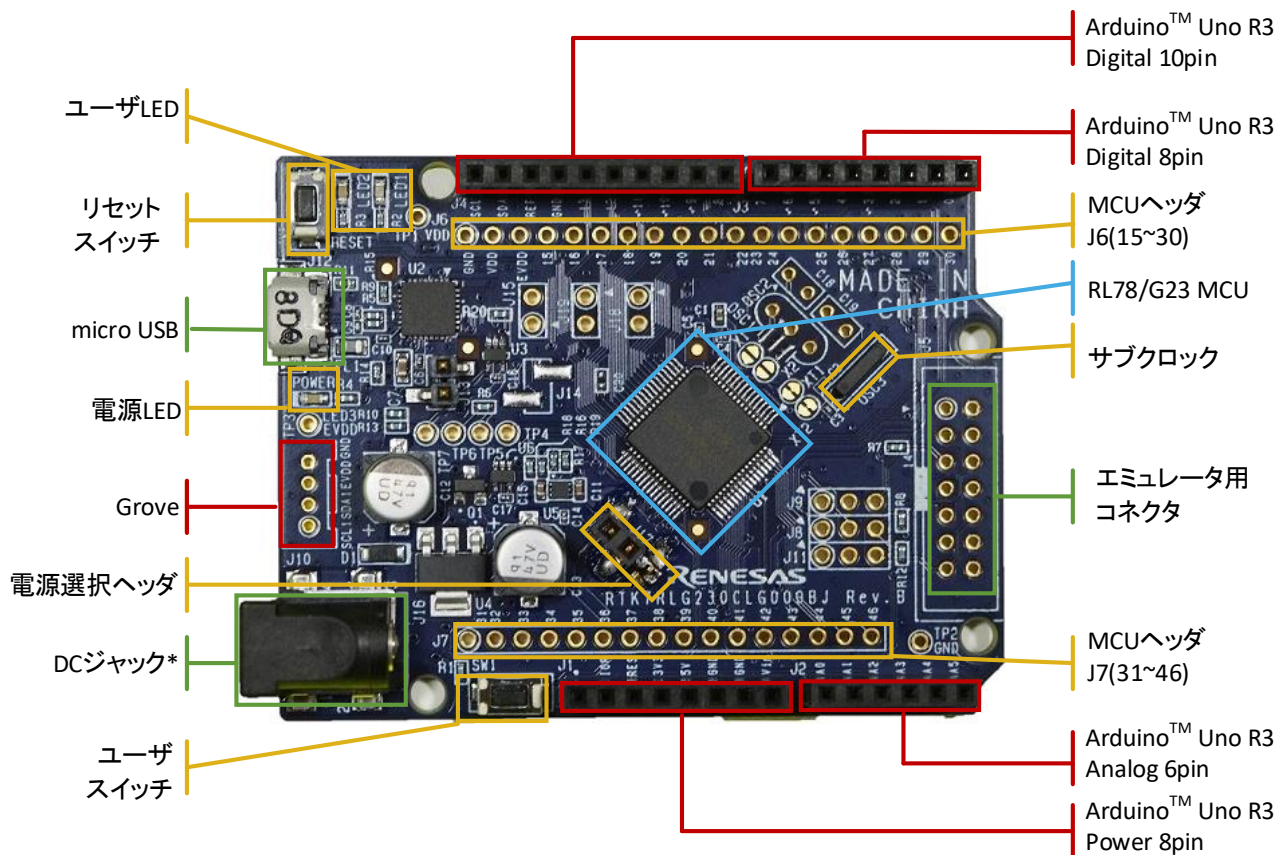


※グレーハッチングは部品未実装

図 1-1: ブロック図

2.外観図

本製品の部品面外観図を図 2-1 に示します。



*:  センタ+, 7V~12V DC入力, 内径 = 2.0 mm, 外径 = 6.5 mm

図 2-1: 部品面外観図

3. 部品配置図

本製品の部品配置図を図 3-1 に示します。

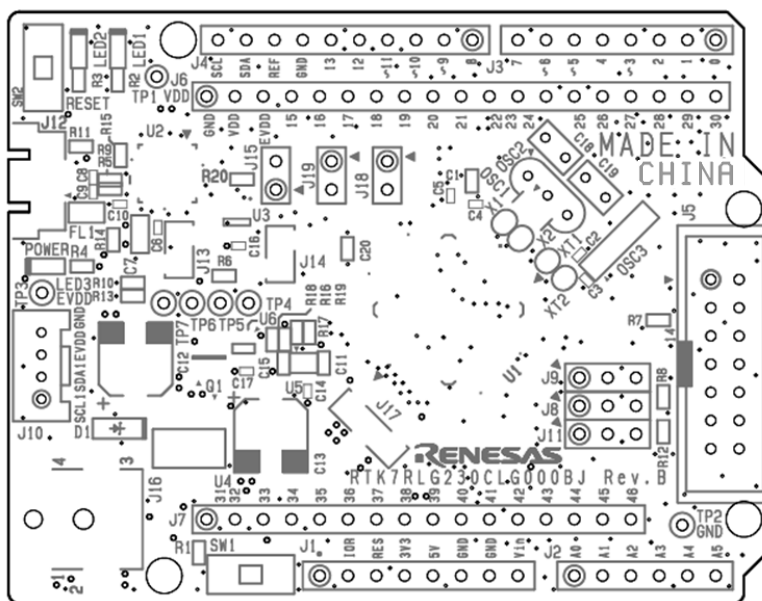


図 3-1: 部品配置図

本製品の寸法図を図 3-2 に示します。

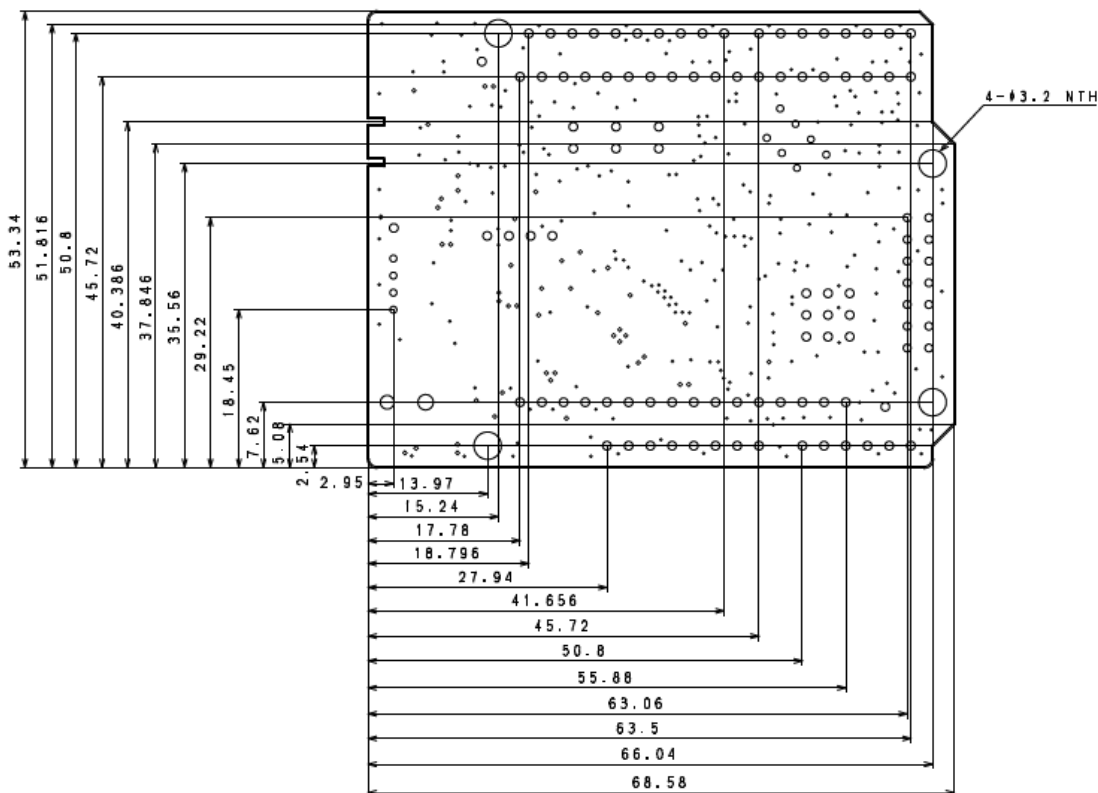


図 3-2: 寸法図

4.動作環境

本製品の動作環境を図 4-1 に示します。また、統合開発環境(IDE)をご使用のホスト PC にインストールしてください。

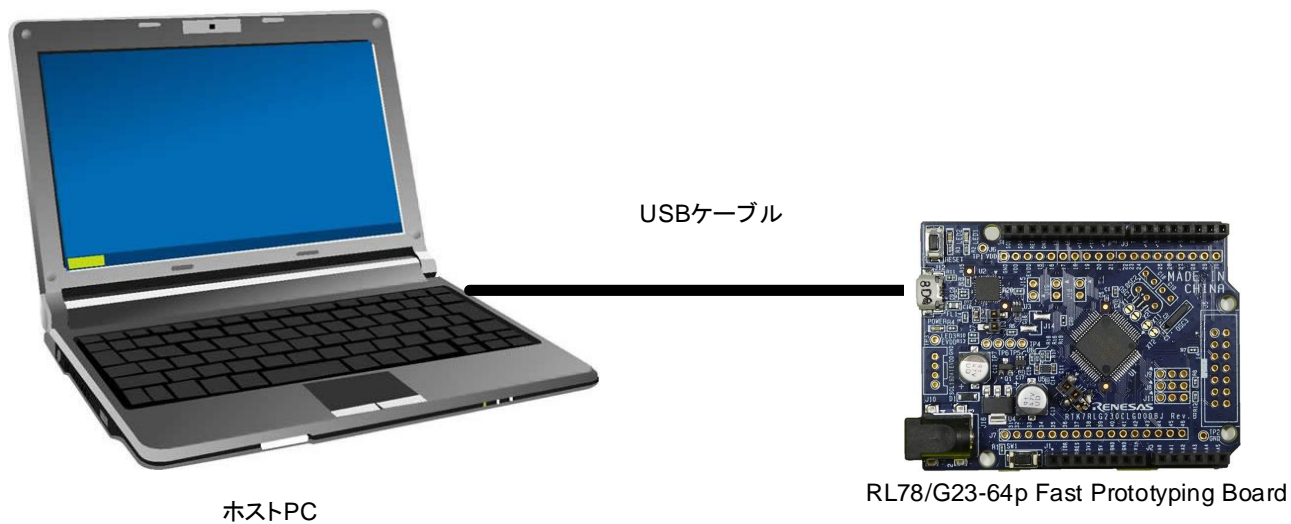


図 4-1: 動作環境

5. ユーザ回路

5.1 評価 MCU

出荷時における評価 MCU(RL78/G23 64pin)の電源、システムクロック、リセットの仕様を以下に示します。

- 電源：USB から 5V (VBUS) 供給 (アナログ電源含む)
- システムクロック：オンチップ発振器で動作
- リセット：リセットスイッチ、IDE からのリセット指示

5.2 USB コネクタ

コネクタ形状は、micro USB Type-B で、用途は、電源供給および RL78 COM port デバッグ・ツールと通信 (USB-シリアル変換) するためのインターフェースです。USB ケーブルを介してパソコンに接続してください。ホスト PC 側の電源が ON であればケーブル接続と同時に本製品へ電源が供給されます。

※USB ケーブルは添付されておりません。エミュレータから電源供給中に USB ケーブル接続を行わないでください。

5.3 電源 LED

点灯中は、VDD 電源が供給されていることを示します。点灯色は緑です。

※2.2V 以下では LED が点灯しないことがあります。

5.4 ユーザ LED

ユーザが任意の目的で使用可能な LED です。LED1 と LED2 が搭載されており、それぞれ以下のポートに接続されています。点灯色は緑です。

- LED1：36 ピン、ポート P53
- LED2：35 ピン、ポート P52

※2.2V 以下では LED が点灯しないことがあります。

5.5 Arduino™ コネクタ

本コネクタは、Arduino™ Shield を接続することを想定した仕様となっています。ただし、全ての Arduino™ Shield との接続を保証するものではありません。本製品の仕様とご使用になる Arduino™ Shield 仕様を確認の上、ご使用ください。

Arduino™ コネクタのピン配置を図 5-1、ピンアサインを表 5-1 に示します。

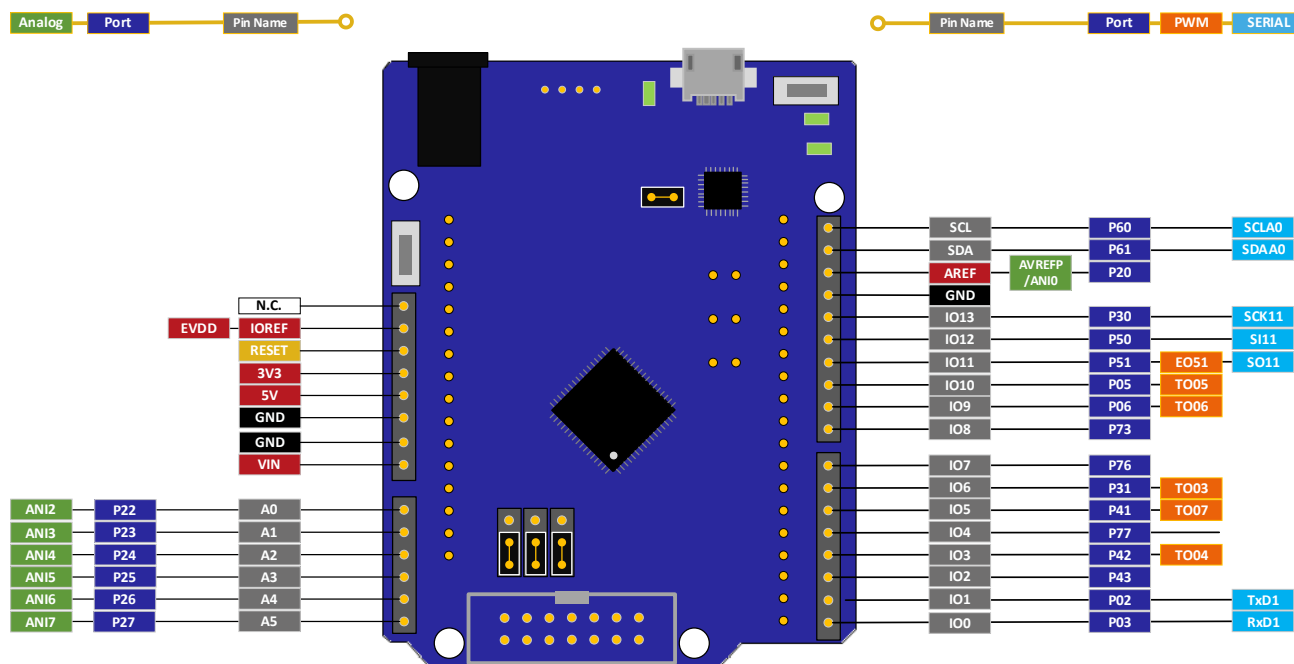


図 5-1: Arduino™ コネクタピン配置

表 5-1: Arduino™ ピンアサイン

回路図 部品番号	Arduino™ 信号名*2	RL78/G23 64pin						
		ピン	電源	ポート	Analog	PWM	Serial	その他の機能
J1-1	N.C.	-	-	-	-	-	-	-
J1-2	IOREF	16	EVDD	-	-	-	-	-
J1-3	RESET	6	-	-	-	-	-	RESET
J1-4	3V3	-	-	-	-	-	-	-
J1-5	5V	-	-	-	-	-	-	-
J1-6	GND	14	VSS	-	-	-	-	-
J1-7	GND	14	VSS	-	-	-	-	-
J1-8	VIN	-	-	-	-	-	-	-
J2-1	A0	54	-	P22	ANI2	-	-	ANO0/TS20/EI22
J2-2	A1	53	-	P23	ANI3	-	-	ANO1/TS21/EI23
J2-3	A2	52	-	P24	ANI4	-	-	TS22
J2-4	A3	51	-	P25	ANI5	-	-	TS23
J2-5	A4	50	-	P26	ANI6	-	-	TS24
J2-6	A5	49	-	P27	ANI7	-	-	TS25
J3-1	IO0	59	-	P03	ANI16	-	RxD1 /SI10/SDA10	TS29
J3-2	IO1	60	-	P02	ANI17	-	TxD1 /SO10	TS28
J3-3	IO2	2	-	P43	-	-	-	CLKA1
J3-4	IO~3	3	-	P42	-	TO04	TxDA1-	TI04
J3-5	IO4	22	-	P77	-	-	-	TS09/KR7/INTP11
J3-6	IO~5	4	-	P41	-	TO07	RxDA1	TI07
J3-7	IO~6	21	-	P31	-	TO03	-	TS01/EI31/TI03 /INTP4
J3-8	IO7	23	-	P76	-	-	-	TS08/KR6/INTP10
J4-1	IO8	26	-	P73	-	-	SO01	TS05/KR3
J4-2	IO~9	30	-	P06	-	TO06	-	TS11/TI06/CLKA0
J4-3	IO~10	31	-	P05	-	TO05	-	TS10/TI05
J4-4	IO~11	34	-	P51	-	EO51*1	SO11	EI51/CCD02/INTP2
J4-5	IO12	33	-	P50	-	-	SI11 /SDA11	TS00/EI50/EO50 /CCD03/INTP1
J4-6	IO13	32	-	P30	-	-	SCK11 /SCL11	VCOUT0/TSCAP /EI30/INTP3 /RTC1HZ
J4-7	GND	14	VSS	GND	-	-	-	-
J4-8	ADREF	56	-	P20 *3	AVREFP /ANI0	-	-	EI20 VDD
J4-9	SDA	18	-	P61	-	-	SDAA0	EO61/CCD05
J4-10	SCL	17	-	P60	-	-	SCLA0	EO60/CCD04

*1 イベントリンク機能を使用し、タイマ出力 TO02 (P17) が使用可能

*2 IOx,IO~x の x は、Arduino™IDE におけるピン番号です。Arudino™IDE は今後対応予定です。

*3 P20 は VDD とデフォルト接続されています。VDD から切断したい場合はカットパターン (AVREFP) をカットしてご使用下さい。

5.6 MCU ヘッド

本製品には、19 ピンヘッド用のスルーホール(J6),および 16 ピンヘッド用のスルーホール(J7)搭載されています。ヘッドのピッチ間隔は 2.54mm ピッチに配置されており評価 MCU に接続されています。

なお、IO14 はエミュレータ用コネクタ(J5)の 5 ピンと兼用です。ピンアサインを表 5-2、表 5-3 に示します。

表 5-2: MCU ヘッド ピンアサイン(1)

回路図 部品番号	Arduino™ 信号名*1	RL78/G23 64pin						
		ピン	電源	ポート	Analog	PWM	Serial	その他の機能
J5-5	IO14	5	-	P40	-	-	-	TOOL0
J6-15	-	13,14	VSS	-	-	-	-	-
J6-16	-	15	VDD	-	-	-	-	-
J6-17	-	16	EVDD	-	-	-	-	-
J6-18	IO15	35	-	P52	-	-	-	<u>LED2</u>
J6-19	IO16	36	-	P53	-	-	-	<u>LED1</u>
J6-20	IO17	37	-	P54	-	-	-	-
J6-21	IO18	38	-	P55	-	-	-	-
J6-22	IO19	29	-	P70	-	-	SCK21/SCL21	TS02/RIN0/KR0
J6-23	IO20	28	-	P71	-	-	SI21/SDA21/RxDA0	TS03/KR1
J6-24	IO21	27	-	P72	-	-	SO21/TxDA0	TS04/KR2
J6-25	IO22	25	-	P74	-	-	SI01/SDA01	TS06/KR4/INTP8
J6-26	IO23	24	-	P75	-	-	SCK01/SCL01	TS07/KR5/INTP9
J6-27	IO24	11	-	P121	-	-	-	VBAT/EI121
J6-28	IO25	10	-	P122	-	-	-	EXCLK/EI122
J6-29	IO26	9	-	P137	-	-	-	EI137/INTP0 <u>SW1</u>
J6-30	IO27	8	-	P123 *2	-	-	-	-
J6-31	IO28	7	-	P124 *3	-	-	-	EXCLKS
J6-32	IO29	1	-	P120	ANI19	-	-	IVCMP1/EI120
J6-33	IO30	58	-	P04	-	-	SCK10/SCL10	-

*1 IOx の x は、Arduino™IDE におけるピン番号です。Arudino™IDE は今後対応予定です。

*2 P123 はサブクロック XT1 とデフォルト接続されています。

ポートとして使用する場合は、カットパターン (XT1) をカット、ショートパッド(P123)をショートしてご使用ください。

*3 P124 はサブクロック XT2 とデフォルト接続されています。

ポートとして使用する場合は、カットパターン (XT2) をカット、ショートパッド(P124)をショートしてご使用ください。

表 5-3: MCU ヘッド ピンアサイン(2)

回路図 部品番号	Arduino™ 信号名*1	RL78/G23 64pin						
		ピン	電源	ポート	Analog	PWM	Serial	その他の機能
J7-34	IO31	39	-	P17	-	TO02	-	EO17/CCD01/TI02-
J7-35	IO32	40	-	P16	-	TO01	-	EO16/CCD00/TI01/INTP5
J7-36	IO33	41	-	P15	-	-	SCK20/SCL20	EO15
J7-37	IO34	42	-	P14	-	-	RxD2/SI20/SDA20	VCOUT1/EO14
J7-38	IO35	43	-	P13	-	-	TxD2/SO20	IVREF1/EO13
J7-39	IO36	44	-	P12	-	-	SO00/TxD0	EI12/EO12
J7-40	IO37	45	-	P11	-	-	SI00/RxD0/SDA00	EI11/EO11
J7-41	IO38	46	-	P10	-	-	SCK00/SCL00	EI10/EO10
J7-42	IO39	47	-	P146	-	-	-	-
J7-43	IO40	48	-	P147	ANI18	-	-	IVCMP0/EI147
J7-44	IO41	55	-	P21 *4	ANI1/ AVREFM	-	-	EI21
J7-45	IO42	57	-	P130	-	-	-	-
J7-46	IO43	61	-	P01	-	TO00	-	TS27/EI01/EO01
J7-47	IO44	62	-	P00	-	-	-	TS26/EI00/TI00
J7-48	IO45	63	-	P141	-	-	-	PCLBUZ1/INTP7
J7-49	IO46	64	-	P140	-	-	-	PCLBUZ0/INTP6

*4 P21 は GND とデフォルト接続されています。GND から切断したい場合はカットパターン (AVREFM) をカットしてご使用下さい。

5.7 Grove コネクタ

本コネクタ (J10) は、Grove module (I2C) を接続することを想定した仕様となっています。ただし、全ての Grove module (I2C) との接続を保証するものではありません。本製品の仕様とご使用になる Grove module (I2C) 仕様を確認の上、ご使用ください。

Grove コネクタのピン配置を図 5-2、ピンアサインを表 5-4 に示します(コネクタ部品は未実装です)

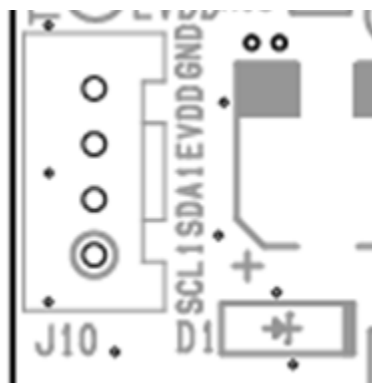


図 5-2 Grove コネクタピン配置

表 5-4: Grove コネクタピンアサイン

回路図 部品番号	RL78/G23 64pin			
	ピン	電源	ポート	I2C
J10-1	19	-	P62	SCLA1
J10-2	20	-	P63	SDAA1
J10-3	-	EVDD	-	-
J10-4	-	GND	-	-

5.8 クロック

評価 MCU のクロック源用にクロック回路が備わっています。評価 MCU 仕様詳細については RL78/G23 ユーザーズマニュアル ハードウェア編、本製品のクロック回路詳細については RL78/G23-64p Fast Prototyping Board 回路図を参照してください。RL78/G23-64p Fast Prototyping Board 上のクロック詳細を表 5-5 に示します。

表 5-5: クロック詳細

クロック	機能/用途	出荷時の状態	周波数	発振子パッケージ
OSC1	メインシステムクロック用水晶発振子 (想定部品例 : Murata 製 CSTNE20M0V5)	未実装	n/a	表面実装
OSC2	メインシステムクロック用水晶発振子/ セラミック共振子	未実装	n/a	リード型
OSC3	サブシステムクロック用水晶発振子	実装済	32.768kHz	表面実装

5.9 リセットスイッチ

リセットスイッチ (SW2:RESET) を押下することにより、評価 MCU にハードウェアリセットが入ります。

5.10 ユーザスイッチ

任意に使用できるユーザスイッチ (SW1) を実装しています。ユーザスイッチは評価 MCU の 9 ピン、P137 ポートに接続されています。割り込みは INTP0 に割り当てています。

5.11 USB-シリアル変換器

FTDI 社製 USB-シリアル変換器(FT232RQ)を実装しています。Windows 10 の標準ドライバで使用できます。それ以外の OS の場合は、FTDI の WEB ページよりドライバをインストールしてください。

FTDI WEB ページ:<http://www.ftdichip.com/>
Drivers ->VCP Drivers

USB-シリアル変換器リセットヘッダ (J13) はオープンとし、ホスト PC と USB 接続すると COM ポートとして認識されます。

RL78 COM port デバッグ・ツールとして、評価 MCU のデバッグとプログラミングが可能です。「7 コード開発」参照ください。その際、評価 MCU の P40(TOOL0),P11(TOOLRxD),P12(TOOLTxD)の使用はできません。

また、評価 MCU の RxD0(P11),TxD0(P12)を使用して、ホスト PC と評価 MCU の UART 通信が可能です。ターミナルソフト (TeraTerm 等) はユーザ側でご準備ください。

5.12 USB-シリアル変換器リセットヘッダ

本ヘッダ (J13) を短絡させることにより USB-シリアル変換器が強制リセット状態になります。RL78 COM Port デバッグ・ツールを使用せず評価 MCU 単体で動作させる場合は、USB-シリアル変換器をリセット状態としてください。USB-シリアル変換器リセット中は、P11(RxD0),P12(TxD0)をポート等 UART 以外の機能として使用可能です。なお、ポート等 UART 以外の機能として使用する場合でも、ホスト PC と USB 接続されてある必要があります。USB-シリアル変換器リセットヘッダ位置を図 5-3 に示します。

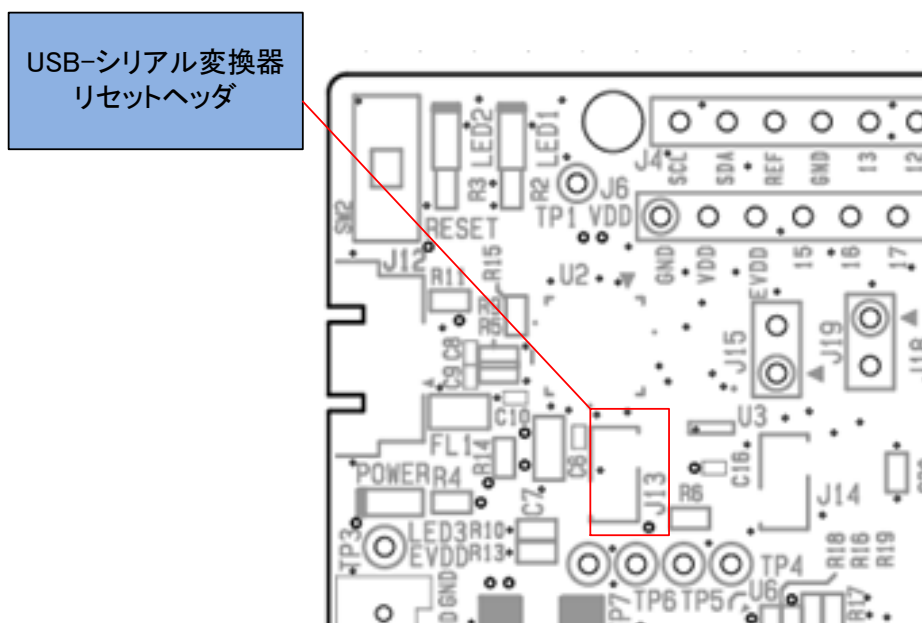


図 5-3: USB-シリアル変換器リセットヘッダ位置(部品面)

5.13 電源選択ヘッダ

本ヘッダ（J17）により、評価 MCU の動作電源（VDD）を 5V、3.3V またはエミュレータ供給/外部電源供給に変更できます。J17 のジャンパ設定を変更は電源供給 OFF の状態で行ってください。

- ・ J17 1-2 ショート：5V 電源を選択。出荷時初期設定。(図 5-4)
- ・ J17 2-3 ショート：3.3V 電源を選択。(図 5-5)
- ・ J17 オープン：エミュレータ/外部電源供給を選択。(図 5-6)

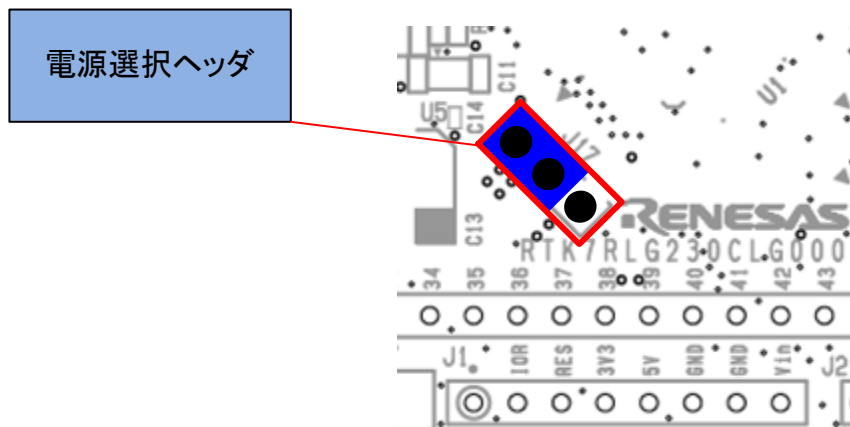


図 5-4: 5V 使用時のヘッダ設定(部品面)

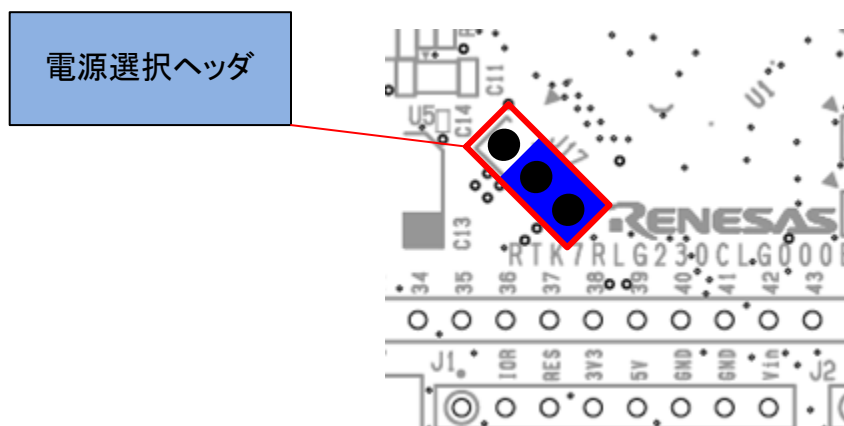


図 5-5: 3.3V 使用時のヘッダ設定(部品面)

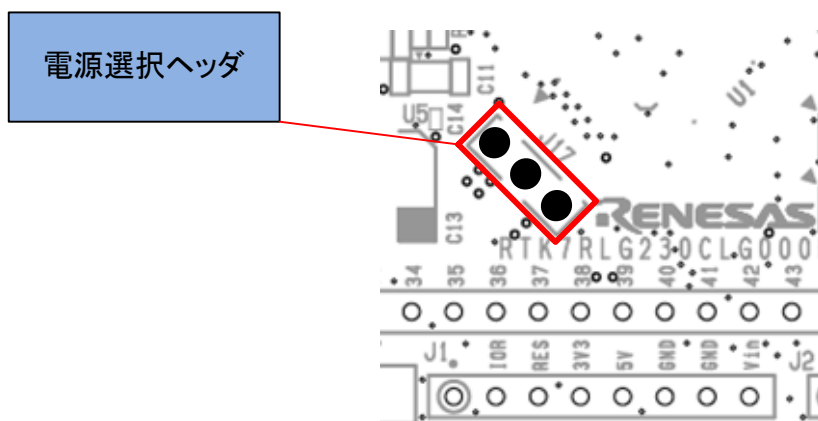


図 5-6: エミュレータ/外部電源使用時のヘッダ設定(部品面)

5.14 外部電源供給

評価 MCU を任意の電圧で動作させる場合、あるいは電流容量が不足する場合は外部から電源を供給してください。投入可能な電圧は評価 MCU に準じます。

外部電源接続先：

プラス側 MCU ヘッダ J6-16 ピン または TP1 : VDD

マイナス側 MCU ヘッダ J6-15 ピン または TP2 : GND

外部供給電源供給位置を図 5-7 に示します。

外部電源供給する場合には、ご使用になる Arduino™ Shield、Grove module 等の IO 電圧があっているか注意してご使用ください。

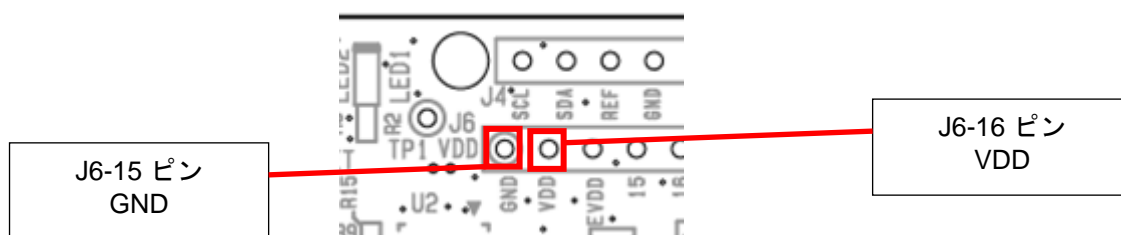


図 5-7: 外部電源供給接続先位置(部品面)

5.15 DC ジャック電源供給

本製品は、AC アダプタ(7V~12V)を DC ジャック (J16) に接続することで動作させることができます。DC ジャックはセンタ+極 (\ominus — \oplus)、内径φ2.0 mm、外径φ6.5 mmです。

(部品型名: KYCON 製 KLDX-SMT2-0202-ATR)

なお、DC ジャックと USB 同時接続時は、VBUS と 5V 電源間は FET スイッチにて切断状態となります。

5.16 電流測定ヘッダ

本ヘッダ (J18) は評価 MCU の消費電流測定用です (J18 ヘッダ部品は未搭載です)。電流計を接続し、評価 MCU の消費電流が測定可能です。ただし、本ヘッダを使用する場合はカットパターン (VDD) をカットしてください。電流測定ヘッダとカットパターンの位置を図 5-8 に示します。



図 5-8 : J18 電流測定ヘッダ および VDD カットパターン位置

電流測定ヘッダ (J18) 間に電流計を挿入し電流測定します。評価 MCU 以外での消費を抑えるためカットパターン (VCCIO) をカット (図 5-11 参照)、LED は消灯した状態で計測ください。EVDD オフにして、低消費状態で電流測定する場合には、カットパターン (VDD_EVDD) をカット (図 5-10 参照) し、VDD と EVDD を分離してください。

消費電流測定に関わる電源ラインのブロック図を図 5-9 に示します。全体の電源回路ブロック図については図 6-1 を参照ください。

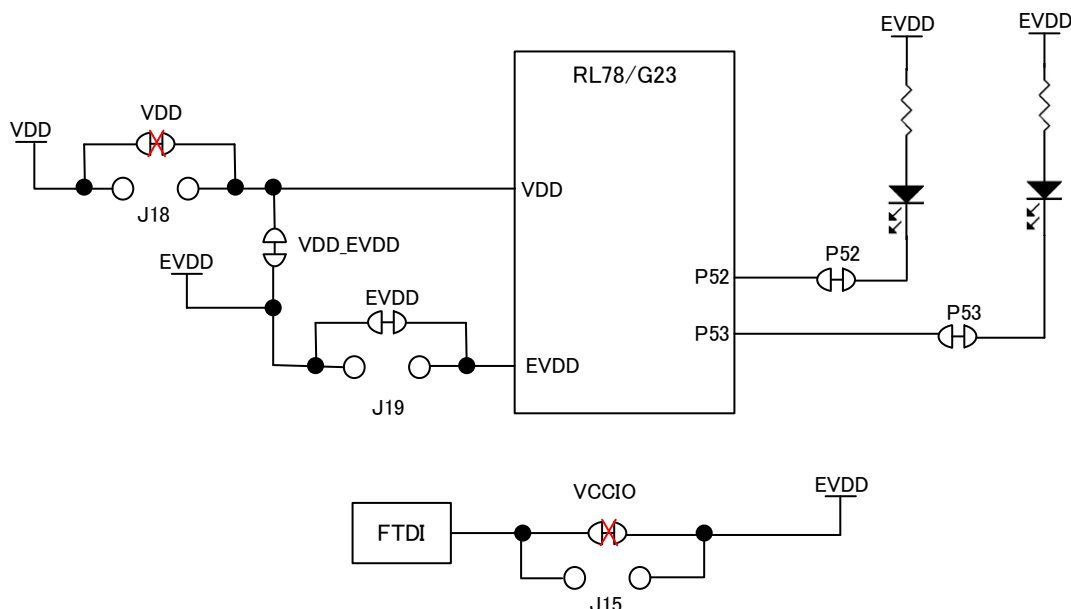


図 5-9 : 電流測定ヘッダ ブロック図

5.17 VDD, EVDD の分離パターン

VDD と EVDD を異電位で使用される場合には、本カットパターン（VDD_EVDD）をカットしてご使用ください。カットパターンの位置を図 5-10 に示します。

異電位とする EVDD の外部電源接続先：

プラス側 MCU ヘッダ J6-17pin または TP2 : EVDD

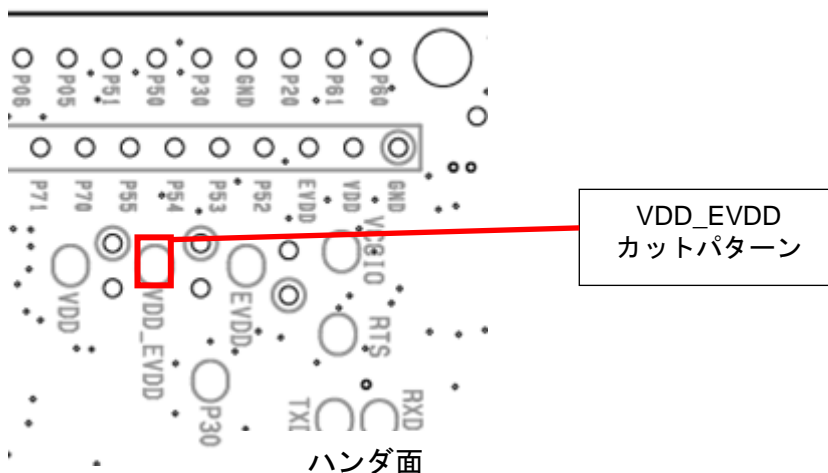


図 5-10 : VDD_EVDD カットパターン位置

5.18 USB-シリアル変換器の IO 電源カットパターン

USB を接続せずに使用される場合には、本カットパターン（VCCIO）をカットしてご使用ください。カットパターンの位置を図 5-11 に示します。また J15 ヘッダ（ヘッダ部品は未実装）はオープンとしてください。

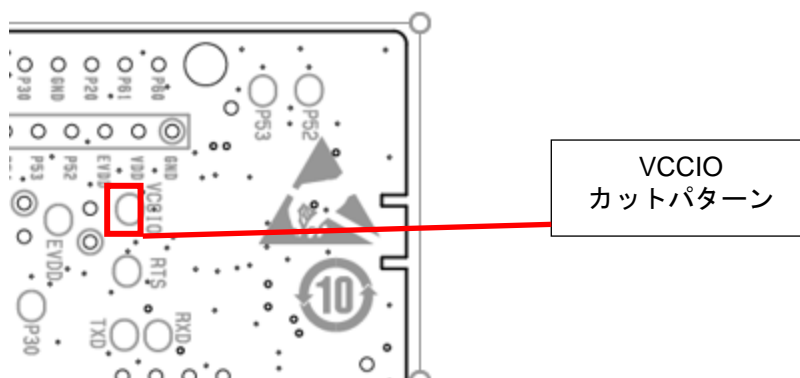


図 5-11 : VCCIO カットパターン位置

5.19 エミュレータ用コネクタ

本 14pin コネクタ (J5) は、ルネサスエレクトロニクス製のプログラミング機能付きオンチップ・デバッグ・エミュレータ E2 エミュレータまたは E2 エミュレータ Lite との接続用コネクタです。(コネクタ部品は未実装です) エミュレータを使用して、評価 MCU のプログラミングおよびデバッグを行います。

エミュレータを接続するには以下の工事が必要となります。

- ・ J5 :14pin コネクタの実装
- ・ J8,J9,J11 :2-3 ショート
- ・ TOOL0_USB :カット
- ・ RESET :カット
- ・ T_RESET :カット

エミュレータの使用方法については、「E1/E20/E2 エミュレータ, E2 エミュレータ Lite ユーザーズマニュアル別冊 (RL78 接続時の注意事項)」 (R20UT1994) を参照ください。

6. 取り扱い上の注意

6.1 供給可能電流

USB 給電、DC ジャックからの給電、およびエミュレータからの給電で本製品を使用する場合は、VDD,EVDD,5V,3,3V の使用電流の総計が Max 200mA を超えないように、注意してご使用下さい。

6.2 基板改造

基板の改造は（カットパターンのカットなども含む）、お客様の責任において行ってください。

ジャンパの出荷初期設定の状態を以下に示します。

J13: オープン

J17:1-2 ショート

6.3 電源供給と使用条件

本製品は、電源供給を選択できます。電源供給元と使用条件の相関を表 6-1 に示します。電源回路ブロック図を図 6-1 に示します。

表 6-1: 電源供給元と使用条件

電源供給元	使用条件	評価 MCU への電源供給	Arduino™ Shield 使用可否 ^{*1}	Grove module 使用可否 ^{*1}	エミュレータおよび IDE 使用可否	ジャンパ設定 ^{*2}
USB 給電 ^{*4} (デフォルト)		5V または 3.3V	可能	可能	可能 ^{*3}	不要: J17 1-2 ショート: 5V (デフォルト) 必要: J17 2-3 ショート: 3.3V
DC ジャック VIN		5V または 3.3V	可能	可能	可能 ^{*3}	不要: J17 1-2 ショート: 5V (デフォルト) 必要: J17 2-3 ショート: 3.3V
外部電源		1.6V~5.5V	可能	可能	可能 ^{*3}	必要: J17 オープン
エミュレータ供給		E2 Lite: 3.3V E2: 1.8V~5.0V	可能 ^{*5}	可能	可能	必要: J17 オープン

*1: RL78/G23-64p Fast Prototyping Board と Arduino™ Shield または Grove module を接続する場合は、電源、インタフェースの仕様をご確認の上、お客様の責任において接続してください。

また、Arduino™ Shield へ 5V, 3.3V 供給が必要な場合は、USB 接続、または、DC ジャックからの電源供給を行ってください

*2: 出荷時からの変更の要否を記載しています。

*3: IDE の設定でエミュレータからの電源供給はしない設定でご使用ください。1.8V 以下では使用できません。

*4: USB 給電を行わない場合は、J15 オープンとし、カットパターン VCCIO をカット (図 5-11 参照) してご使用ください。

*5: Shield の形状によりエミュレータとの同時使用が困難な場合があります。

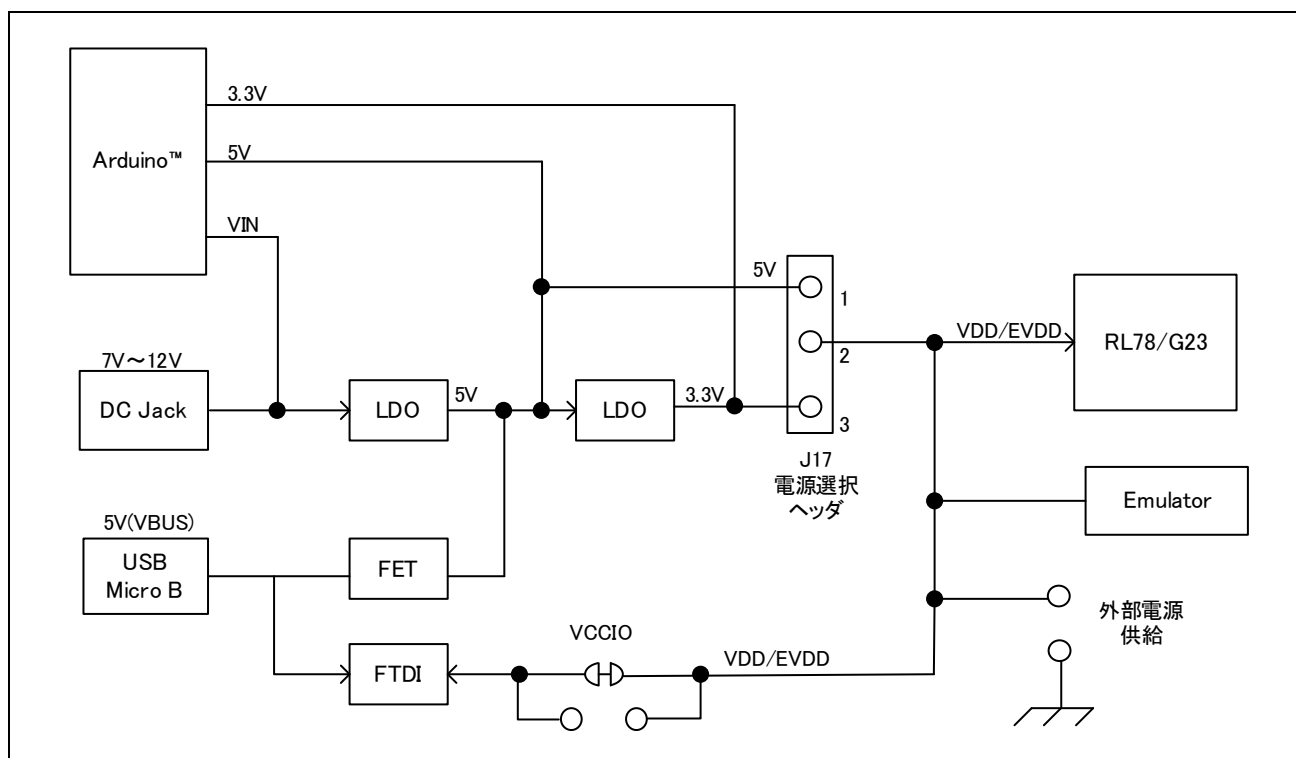


図 6-1 電源回路ブロック図

7. コード開発

評価 MCU（RL78/G23 64pin）に対応した、e² studio または CS+をご使用ください。

7.1 e² studio を使用する場合

RL78/G23-64p Fast Prototyping Board と e2 studio を接続する際の設定を図 7-1 に示します。

- Debug hardware: COM port(RL78)を選択してください。
- Target Device : R7F100GLG を選択してください。
- ターゲット・ボードとの接続
COM ポート : プルダウンから RL78/G23-64p FPB に割り当てられた COM ポート番号を選択します。
リセット制御端子 : 「DTR」を選択してください。

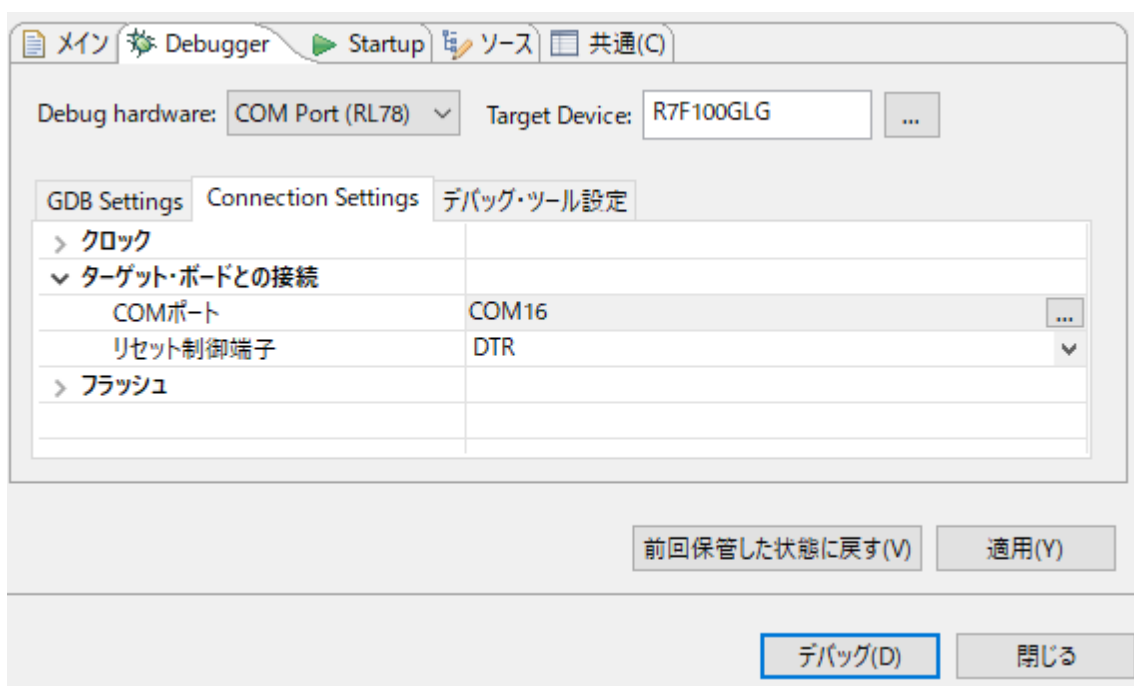


図 7-1: e² studio の設定

7.2 CS+を使用する場合

RL78/G23-64p Fast Prototyping Board と CS+を接続する際の設定を図 7-2、図 7-3 に示します。

- 使用するデバッグ・ツール:
“デバッグ (D)” → “使用するデバッグ・ツール (L)” では、“RL78 COM port (C)” を選択してください。



図 7-2: デバッグ・ツール選択パネル

- ターゲット・ボードの接続
通信ポート：プルダウンから RL78/G23-64p FPB に割り当てられた COM ポート番号を選択します。
リセット制御端子：「DTR」を選択します。



図 7-3: CS+ 接続用設定タブ

詳細と注意事項については、RL78 COM port デバッグ・ツール用のマニュアル(準備中)を参照ください。

8. 追加情報

サポート

統合開発環境の使用方法等の詳細情報は、統合開発環境のヘルプメニューを参照してください。

評価 MCU (RL78/G23 64pin) に関する詳細情報は、RL78/G23 ユーザーズマニュアル ハードウェア編を参照してください。

アセンブリ言語に関する詳細情報は、RL78 ファミリユーザーズマニュアル ソフトウェア編を参照してください。

オンライン技術サポート

技術関連の問合せは、<https://www.renesas.com/support/contact.html> を通じてお願いいたします。

ルネサスのマイクロコントローラに関する総合情報は、<https://www.renesas.com/> より入手可能です。

注意事項

RL78/G23-64p Fast Prototyping Board、またはサンプルコードをお客様の製品に組み込まないでください。サンプルコードは動作を保証するものではありません。使用する場合には、お客様の責任において動作確認を行って下さい。

商標

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

著作権

本書の内容の一部または全てを予告無しに変更することがあります。本書の著作権はルネサスエレクトロニクス株式会社にあります。ルネサスエレクトロニクス株式会社の書面での承諾無しに、本書の一部または全てを複製することを禁じます。

© 2021 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.

改訂記録	RL78/G23-64p Fast Prototyping Board ユーザーズマニュアル
------	--

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2021.01.16	－	新規

RL78/G23-64p Fast Prototyping Board ユーザーズマニュアル

発行年月日 2021年1月16日 Rev.1.00

発行 ルネサス エレクトロニクス株式会社
〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

RL78/G23